

ハロウィーンをイメージした装飾。生徒が栽培したカボチャで個性豊かな顔を表現。丹波篠山市福住で



た。  
中心となって装飾を手  
掛けた さん、  
さん(同)、さ  
ん(西紀中出身)は、  
「顔に個性が溢れている。  
ハロウィーンにぴった  
り。雰囲気を感じて」と  
笑顔だった。  
同校の女関は、一年を  
通し季節に応じた装飾が  
されている。

2022年9月25日  
丹波新聞

# カボチャがお出迎え

## 高雲 篠山 東関 雲装 篠玄 関に

### ハロウィーン演出

篠山東雲高校の校舎玄  
関に、ハロウィーンをイ  
メージした装飾がお目見  
えした。1年生31人が栽  
培したカボチャ約20個

に、思い思  
いに色付き  
のガムテー  
プを貼って  
顔を表現。  
農業高校らし  
くハロウィー  
ンムードを演  
出している。  
11月上旬まで。



1年生は、総合実習の  
授業の一環で巨大な実を  
付ける品種「アトラン  
ティックジャイアント」  
など3品種を栽培。4月  
に種をまき、5月に苗を  
定植。以来、1週間に1  
度は追肥や除草を行い、  
生育を見守ってきた。

7-8月にかけて収  
穫。最も大きいもので、  
重さが42kgあった。

さん(篠山中出身)  
は「収穫した瞬間、『で  
かいな。外国のやつや』  
と思った」と笑う。

装飾には、バターナッ  
ツかぼちゃのほか、とげ  
とげしい見た目が特徴の  
果実「キワーノ」も並べ